

□白石町温室効果ガス総排出量削減の進捗状況について

「白石町地球温暖化防止実行計画」では、役場の事務・事業で排出している温室効果ガスを計画的に削減していくことを目標としています。（平成25年度を基準年度とし、平成30年度までに6%削減を目指します。）

年度	平成25年度【基準年度】	平成30年度【目標年度】
温室効果ガス総排出量 (kg-co2)	2,947,721	2,770,858

平成29年度の温室効果ガス総排出量は、525トン（t-CO₂）でした。

- 温室効果ガスの総排出量
 - ・総排出量は、対基準年度（H25）比で約423トン減少しました。
 - ・基準年度（H25）からの増減比率は、14.35%減となりました。

年度	H25【基準年度】	H28	H29
温室効果ガス総排出量 (kg-co2)	2,947,721	2,692,015	2,524,683
対基準年度（H25）との比較	排出量 (kg-co2)	▲ 255,706	▲ 423,038
	増減率	▲ 8.67%	▲ 14.35%

【参考】温室効果ガス排出量の算定方法

$$\text{温室効果ガス排出量} = \text{エネルギー使用量} \times \text{エネルギー別排出係数}$$

- エネルギー別排出量の比較

発生区分	【基準年度】 H25排出量 (kg-co2)	H28排出量 (kg-co2)	H29排出量 (kg-co2)	前年度 比較増減	H29排出量 発生区分毎 構成比	対基準年度 (H25) 増減比率
	①	②	③	③-②		①÷③-1*100
燃料費	690,962	717,468	661,364	▲ 56,104	26.20%	▲ 4.28%
ガソリン	88,812	85,233	96,692	11,459	3.83%	8.87%
灯油	59,298	45,667	44,208	▲ 1,459	1.75%	▲ 25.45%
軽油	12,138	15,301	15,822	521	0.63%	30.35%
A重油	434,598	508,598	435,167	▲ 73,431	17.24%	0.13%
液化石油ガス(LPG)	96,116	62,669	69,475	6,806	2.75%	▲ 27.72%
電気使用	2,127,728	1,879,240	1,770,690	▲ 108,550	70.13%	▲ 16.78%
自動車走行	3,660	3,597	3,511	▲ 86	0.14%	▲ 4.07%
下水処理・浄化槽						
※有機性廃棄物のコンポスト化を含む	125,371	91,710	89,118	▲ 2,592	3.53%	▲ 28.92%
合計	2,947,721	2,692,015	2,524,683	▲ 167,332	100.00%	▲ 14.35%

- 発生区分別の状況

電気使用： 電気使用の区分については、前年度（平成28年度）と比較すると電気の使用量は増加したものの、各電力会社の前年度の発電実績に応じて毎年算定されている電気事業者別の排出係数が前年度より減少（以下【参考1】）したことなどから、排出量そのものは減少しています。

※電気事業者別の排出係数は、東日本大震災（H23.3.11）以降、原子力発電所の長期停止に伴う火力発電量の増加などにより、大幅に増加していましたが、平成27年度以降は減少傾向にあります。

燃料費： 燃料費の区分では、前年度（平成28年度）と比較すると、ガソリン、液化石油ガス（LPG）及び軽油の項目で増加がありましたが、A重油では大きく減少しています。

その他： 下水処理・浄化槽及び自動車走行の区分では、前年度（平成28年度）と比較していずれも減少しています。

【参考1】電気事業者（九州電力株）の温室効果ガス排出係数の推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
排出係数 (kg-co2/kWh)	0.385	0.525	0.612	0.613	0.584	0.509	0.462
対前年度増減率	-	36.36%	16.57%	0.16%	▲ 4.73%	▲ 12.84%	▲ 9.23%

【参考2】電気の使用量の推移（役場の事務・事業における使用量）

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
使用量 (kWh)	3,376,776	3,347,196	3,476,679	3,446,094	3,446,271	3,692,024	3,832,663
対前年度増減率	-	▲ 0.88%	3.87%	▲ 0.88%	0.01%	7.13%	3.81%